

通いつけた公民館



満91歳の明石学級生
山谷トミさん
(栄町)

公民館本館に通いつけて20年です。これまで編物、手芸、生花を楽しんできました。今は書道と園芸です。大勢の人たちに会えて話ができるから公民館は大好きです。仲間から「お前さんを目標にしている」と言われると、とてもうれしいです。雨の日も、風の日も20分ほどかけて歩いて来ます。

周りにも聞こえない人はいます



十日町手話
サークル会長
佐藤俊夫さん
(川治内後)

手話サークルでは、初級の手話講習会を開いています。また、青年学級「手話」コースの講師もしています。手話を通して少しでも多くの人から、聞こえない人への理解を深めて欲しいために毎週公民館へ通っています。コース生が一生涯懸命に覚えてくれるのが、うれしいです。

目的と夢を持ち続けたい



十日町青年学級生
高橋 護さん
(大黒沢3)

青年学級の「シネマ&ビデオ」コースで映画のことを学んでいます。趣味の映画を見たり作ったりしています。そんな趣味が仕事となつて独立できることを目標にしてがんばっています。大人になると夢が無くなると言いますが、私は素直な心で、目的を持ち夢を追いかけていきます。

学んだ楽しさを伝えたい



むつみ幼稚園教諭
大島和代さん
(蟹沢)

2年間(平成11、12年度)の「リーダー養成講習会」に参加し、資格を得ました。仕事に生かしたい、自分が楽しみたいという理由からです。体験したさまざまなゲーム、ニュースポーツの楽しさを子どもたちや地域の皆さんに伝えていければと思います。でも、人に伝えるということは難しいですね。

得ることができた礼儀と友達



大会個人組手優勝
空手
大島絵理さん
(上原)

インターハイ出場(8月、熊本県)は3年間の部活動の集大成です。進学は建築関係を目指しています。高校に入ってから始めた空手を通して言葉づかいなど、礼儀が自然に身に付いたと思います。それと苦しさをともにした大切な友だちができました。進学後は新たなものに挑戦したいです。

全日本マスターズでメダルを



吉田体育協会副会長
佐藤敏夫さん
(北鎧坂3)

全日本マスターズ(高齢者の全国スキー大会)のことに知り青森大会(55歳)から参加しています。国体やオリンピック経験者も参加しているレベルの高い大会です。今年は北海道の旭川市で開催されます。今回もメダルを持ち帰れるように毎日トレーニングに励んでいます。

だれもが、いつでも、どこでも
学べるまちを
めざします

「学びのまちづくり」基本構想 — 1~3
 十高甲子園出場を振り返る — 4~5
 世界恒久平和を願い — 6~7
 市町村合併 — 8~9
 市・広域事務組合の12年度決算 — 10~13
 十日町石彫シンポジウム — 14
 信濃川水なしサミット2001 — 16

みんなで 生涯学習

学びのまちづくり

平成10年、社会教育委員会議（滝沢栄輔委員長）より、「十日町市にふさわしい生涯学習体制の確立」について答申がなされました。この答申を受けて、11年6月に生涯学習基本計画策定委員会（市民、行政職員各8人、大島清松委員長）を組織し、13年3月に十日町市の生涯学習を「学びのまちづくり」とする基本構想を策定しました。この構想を基に平成13年度中に基本計画を策定します。「学びのまちづくり」の概要についてお知らせします。

問合せ：社会教育課
（十日町市公民館内）
☎57-5011

生涯学習には 2つの学びの課題があります

公民館に通い続けている山谷トミさん、手話人口を広めようとしている佐藤俊夫さん、大きな夢を持つている高橋護さん、レクリエーションインストラクターの資格を取得した大島和代さん、高校生活を空手に打ち込んだ大島絵理さん、スキートの現役生活をがんばっている佐藤敏夫さん、表紙で紹介した6人の皆さんです。

十日町市に住んでいる子どもからお年よりの皆さんだれもが同じように、目的を持ってさまざまなことを実践しています。

この実践を現在、「生涯学習」と言っています。

この学び（学習）には、一人ひとりが今、学びたいと思っていること（要求課題といいますが）、たとえばスポーツや趣味などがあります。一方、ぜひとも学んでほしいこと（必要課題といいますが）、たとえば直面する地域の課題としてのまちづくりや環境、青少年の問題などがあり、内容はさまざまです。

こうしたさまざまな学習を、だれもが、いつでも、どこでも、何でも学びたいときに、学ぶことができ、その学びの成果が評価され、生かされる社会を「生涯学習社会」と言っています。

これまで十日町市における学

生涯学習に 各自自治体が 取り組んでいます

平成2年に生涯学習振興法が成立し、国の生涯学習審議会が発足して今日に至るまで、全国の8割を超える自治体が試行錯誤を繰り返しながら「生涯学習」に取り組んできました。そして多くの自治体においては、推進母体を教育委員会部局として対

びの特徴は、公民館活動を中心とした社会教育において個人やグループの学ぶことを楽しむ活動や、地域を見つめた活動が行われ、大きな役割を果たしてきました。

生涯学習は 課題解決に 欠かせません

行政の仕事は、市民が生まれながら生涯を終えるまで、すべての人のあらゆる生活にかかわり、全行政分野にわたっています。

しかし経済、社会の変化への対応が要求される中で、すべての人たちの学習活動、あらゆる生活分野を含む生涯学習について、教育委員会部局だけで取り組むことには限界が見られ、生涯学習の振興を「行政の総合的な政策」と位置付ける方向に変化してきています。



この行政分野にはさまざまな課題があり、行政だけでは決して解決することのできないものです。課題を自分たちのものとして、市民一人ひとりが参加し、学び合い、実践していくことが、どうしても欠かせません。たとえば、6月に市内全域で行った「ゴミ分別説明会」は、課題解決に向けた一つの学びの場でした。

こうした市民と行政が、お互いに力を合わせて解決していくことや、行政が支援する部分で明確にするなど、政策の企画、実施、評価の過程を協働して進める生涯学習のシステムが必要となってきました。

生涯学習を 行政の各課連携で 進めます

十日町市の生涯学習の構想である「学びのまちづくり基本構想」は、市民の学びを支援する体制と、市民、民間と行政が一体となる学びに基づいたまちづくりのあり方を示したものです。

行政の各セクションを横断的に連携した「総合行政」として位置付け、

- ◆十日町らしさを重視する。
- ◆新長期発展計画に掲げる十日町市の将来像「やさしさ」と、ふれあいに満ちた活力あふれる都市が、生涯学習社会そのものであるという考え方に立つ。
- ◆行政の各課が総合的、横断的に連携しながら行う。
- ◆という3つの視点から進めることにしました。

すでに生涯学習が国の施策として推進が図られてから10余年の歳月が過ぎました。それだけに、全国自治体の動きを探り、地方の時代にふさわしい生涯学習のあり方と、十日町市の特性を重ね合わせた未来志向の構想に努めました。

「学びのまちづくり」基本構想

歴史と文化を活かし、市民総参加で創り出す学びと交流のまち
～ふるさとを愛し、ふれあいと学びでつむぐ「とおかまち」～

1. めざす学びのまち

十日町市の生涯学習は「学びのまちづくり」を基本として、新十日町市長期発展計画の将来都市像「やさしさ、ふれあいに満ちた活力あふれる都市」を実現するために、つぎの「と・お・か・ま・ち」を望ましい姿として十日町市らしい生涯学習社会にしていくことをめざします。

- と： 共に学び合う、住みよいふるさとのまち
- お： 思いやりとやすらぎのある、健康福祉のまち
- か： 快適な環境、互いに築く魅力あるまち
- ま： まつりの賑わい、みんなでふれ合いつくるまち
- ち： 地域の振興、歴史と文化のかおるまち

2. 「学びのまちづくり」のすすめ方

十日町市らしい生涯学習社会の実現をめざすためにつぎの4点から「学びのまちづくり」をすすめます。

- 1) 行政の横断的な連携、調整機能を強化した推進体制を整えます
 - ・「学びのまちづくり推進本部」を設置し、「学びのまちづくり市民会議」を発足させます。
 - ・市長部局に推進部所を置き、各関係課に生涯学習担当者を位置付けます。
 - ・地域コミュニティを重視した学習の場を整備します。
 - ・各種施設を学びの場として活用できるようにします。
- 2) 学習の機会を充実します
 - ・市民の要求に応える学習の場を充実します。
 - ・生活に直結した課題や、社会の現代的課題に対する学習の機会を充実します。
- 3) 学習の支援体制を整備します
 - ・学校教育を地域や社会教育から応援します。

- ・リーダーや指導者などの人材を育成します。
 - ・より広く学習情報を集め、いろいろな方法で提供します。
 - ・行政や各種機関、学校、企業などと広くネットワークを組みます。
 - ・学びの相談窓口をはっきりさせます。
- 4) 学習成果の活用を図ります
- ・学んだことを個人として役立てるほか、人材やボランティアとしていかす場をつくります。

3. 政策実施に向けて

- ・基本構想は生涯学習の考え方と、十日町市における生涯学習に対する位置付けを明らかにしたものであり、「学びのまちづくり」をすすめるための基本的な姿を示しました。
- ・この基本構想を基に、より具体化した「基本計画」を策定中です。今年度中に完了し、平成15年度からの新長期発展計画に組み入れます。

忘れない夏、忘れられない夏

十高トンボ軍団 夢を、勇気を、感動をありがとう

『4月下旬まで雪に覆われたままのグラウンドを前にすると、この豪雪は高校球児からグラウンドだけでなく甲子園という目標まで奪ってしまうのではないかと思ってしまう。甲子園に行きたい』『甲子園に一步でも近づきたい』という熱き思いは、白い悪魔には勝てないのでしょうか。決してそんなことはないはず。「情熱こそがすべてに勝る甲子園への道」この信念を持ち、大きなハンデを乗り越え、甲子園に飛び立ちたいのです。どんなに技術的に優れたチームであろうと、情熱乏しきチームには甲子園という文字は輝かないのです。甲子園という文字は輝かなくても良い、一日の練習に真剣に取り組み、そして最後の試合に悔し涙でもいから、体全体で泣けるくらい打ち込んだ練習のできるチームになってほしいのです。多くの情熱が丸となったそんな日に、夢は実現するものと思います。』 野球部史「情熱は白魔を超えて」より



(写真提供 十日町タイムス社)

甲子園を振り返って



十高野球部主将 高橋 優介

甲子園を振り返って一番思い出すのは、市民の皆さんからの熱い応援です。地方大会の一回戦から本場におおぜいの方々から応援に来ていただいて、自分たちもたくさんの勇気をもらいました。決勝戦、何度もあった危ない場面、自分たちは常に市民の方々からの応援を受けながら、強気にプレーすることができました。

今回の甲子園出場は、何よりも市民の方々からの応援のおかげだと思っています。残念ながら目標であった1勝は果たせませんでした。来年必ず1・2年生が果たしてくれるはず。3年生はこれからOBとして、十高野球部が甲子園という夢の舞台で立派にトンボを飛ばしてくれることを願いながら、それぞれの道へ進んでいきたいと思っています。

これからもトンボ軍団をあたたい目で見守ってください。本当にありがとうございました。

これからが始まりです

若井監督に聞く



甲子園の興奮冷めやらぬ8月15日(水)、十高野球部は秋の大会に向け、新チームをスタートさせていました。忙しいなか、若井監督に甲子園を振り返っていただきました。

―入場行進のアドバイスは？

「気後れるな。しっかり前を見つめて、天下を取ってやるという気持ちで行進しなさい」

―試合前、選手の表情は？

硬くなるというほうが無理ですよ。甲子園は球場ではなくて舞台でした。あの舞台上で演じるには我々は役者不足だった。

―後攻を選んだ理由は？

普通考えれば先攻です。万に一ついい試合になるとしたら、後攻をとって3回まで無得点というのが最低条件だったんです。我々がじゃんけんして勝つて後攻をとれば向こうは「しめた」と思いますよね。その「しめた」を「しまった」という風を持っていきかけた。駆け引きなんです。一か八かの勝負に出たんです。勝つためです。全員一致

です。いい試合にしようなんて考えてなかった。いい試合をしたって負けは負け。

―立ちあがりには？

普段であれば心配しないようなことがすごく心配だった。7対0のときかけた言葉は？

「何点差をつけられようとも自分たちの野球を見せにきたんだから、それをやろう」

―相手のホームランを見て

全国の強豪ですから並のバッテリーじゃないし、ちよつとコントロールミスをするればあなただけの尻身もよく投げたと思いますよ。出てくるバッター出てくるバッターみんなすごいわけですから。逃げたくなるのは当たり前なんですけど、よくあそこでふんばったと思います。これが甲子園に行つて後輩たち

に残してくれた宝になるわけですよ。自分で何とかするしかない、逃げられない、誰も助けてくれない。野球では絶対必要なことですから。

―最後の円陣でかけた言葉は？

「俺はまだあきらめていない。絶対に最後まであきらめない」

―試合終了後は？

キャプテンは責任を感じて泣いちゃいましたけど、あの子がミスしながらも「さあ行こう、さあ行こう」とやってくれたから2年生も失敗を恐れないで力を発揮できた。ただ、甲子園はミスというのを許してくれない。取り返しがつかない。それが勉強になったのでは。

―ベンチから見たアルプスは？

2回までが自分たちの本当の力とすれば、3回以降が応援団のおかげ。力以上のものが出せたのもあの応援があったから。

―十高は地元の子だけですが？

雪が多いとか、普通高校で地元の子しかいないとかそんなことは一切通用しない。勝つか負けるかですから。地元の子だけだと点数がもらえるわけではないです。地元の子ならのは、地元の子しかできないような何か、雪が多いおかげでこういうチームができましたとい

うような、強豪校にも対抗できる絶対的何かを我々が作り上げていかなければいけない。

―地元の指導者に一言

すばらしい選手を育てていただいてありがとうございます。それがなければ今回の結果もありませんから。

―引退する3年生に一言

本当によくやってくれたと思います。自分もここまでがんばれたのは、今の3年生が自分の

今後、小・中・高のますますの連携を

郡市中体連野球専門部長 十日町中学校 夏井 徳治

南北に細長く、広範囲から通学しにくい新潟県特有の地理的条件、世界有数の豪雪地帯という自然条件などの悪条件を克服し、高校野球を志すだれもが抱く「甲子園」出場を実現された十日町高校野球部の皆さん、本当におめでとうございました。

日頃の部活動の中で、厳しい練習に耐え、球友とともに励ましあい、協力しあった成果が十二分に発揮され、雪深い魚沼地域をはじめとする県内の野球少年に多くの感動や勇気を与えてくれました。21世紀最初の甲子園出場にふさわしいチームワーク・活躍ぶりでした。

また、確固たる信念のもと、日々情熱を注ぎ指導に尽力され、普通に集まった選手たちを夢舞台まで導いていただいた若井監督、富樫部長、竹田コーチに心から敬意を表します。

今後、小中高の連携という大きな重点課題に取り組んでいく必要があります。十高野球部の皆さんから教えていただいた野球に対するひたむきさ(普段の鍛錬・努力が試合に現れ、試合の気品は普段の学校生活を判断することができる)を大切に、選手ともども日々努力と精進を重ねていきたいと思えます。

被爆から56周年世界恒久平和を願い



広島を訪れて

池田 伸子

「原爆投下」という一瞬にして起こった惨劇から、56年もの歳月が流れた。しかし、被爆者の心の中には、まるで昨日のことのように鮮明に刻み込まれていくのだということを、広島で身に染みて感じた。

8月5日から7日の3日間でいくつもの資料や建物、話を聞きすることができたが、中でも、被爆者の方々から直接聞かせていただいた話が一番印象的だった。

式典に参列した後に訪れたYMCA会館での「被爆者証言のつどい」では、74歳の女性から

原水爆禁止十日町市協議会と十日町市では、今年も 原爆犠牲者への慰霊と平和を願い、市民を代表して、広島市派遣団（庭野茂美団長ほか9人）、長崎市派遣団（富井清孝団長ほか1人）を送りました。派遣団は、それぞれ原爆犠牲者慰霊・平和祈念式典に参列し、市と原爆養護ホーム、原爆病院に義援金をお届けしてきました。

広島市派遣団には、中学校代表として南中学校の3年生4人が参加し、被爆者の方々から体験談を聞くなど貴重な体験をしてきました。また、8月6日(月)には市民会館において第47回原水爆禁止十日町市民大会を開催しました。

話をお伺いした。17歳で被爆したというこの女性は、「自分がやられたと知ったとき、悲しみではなく、悔しさと怒りが込み上げてきた。」と静かに話してくださった。原爆で受けた傷は生半可なものではなく、夜は眠れずに泣き叫び、数日間も何も食べられず、半年近くも寝たきりだったという。

それでもこの女性は、「自分は被爆者だ。」などと思わず、「戦争に加担した一人であり、証言をしていかなければならない責任がある。」と言うのである。そして、話の最後に「核廃絶は遠のくばかりだ。」と悲しそうに言う女性を見て、私にも何かできることはないだろうか、

と思わずにはいらなかった。つぎに訪れた原爆養護ホーム舟入むつみ園でも、70代の女性から話をお伺いすることができた。この女性は、大きな外傷はなかったものの、周りの人間すべてがなくなってしまうという。目にいつばいの涙をためながら「何もなくなってしまう」と話してくださった。

この二人の女性をはじめ、すべてのものを白紙にされてしまった被爆者。瓦礫の上に新たにものを築き上げるにはどれだけの苦勞があっただろうか。私は、あの「ヒロシマ」を二度と繰り返さないためにも、できることから始めなくてはならないと思った。

広島を訪れて

星名さゆり

広島での3日間は考えさせられることがたくさんありました。56年前の8月6日8時15分、一つの原子爆弾が投下されました。広島はほとんどが破壊され、多くの人々の生命が奪われました。かろうじて生き残った人も心と身体に大きな傷を受け、今も多くの被爆者が苦しんでいます。

私たちは「被爆者証言のつどい」と原爆養護ホームで被爆者の方からお話を聞くことができました。お話ししてくれたおじいさんは「こんなことにあうのは私たちで十分だ。」と尋ねておられ、戦争の悲惨さ、恐ろしさを感じました。

また、原爆養護ホームのおばあさんは、自分の体験談を目に涙を浮かべながら、優しく語っ



「被爆者証言のつどい」で、河口さんの体験を聞きました

てくれました。

この二人の話聞いて、私は平和とはなんだろうと思いましたが、戦争をしないことが平和なのでしようか。

世界には、核兵器を持つている国がたくさんあります。そういう国がある限り、また、いつどこで、広島、長崎のようなことが起こるかもしれません。だから、私たち一人ひとりの手により「平和」と「核兵器廃絶」を訴えていかなければいけないと思います。

そして、56年前のあの惨劇を多くの人たちに知ってもらい、世界が平和になることを願います。



原爆病院前には爆風で曲がった鉄製の窓枠が保存されています

広島派遣団に参加して

平澤 卓也

広島に派遣させていただき、とても興味深い体験をさせていただきました。最も印象に残っているのは、実際に原爆を体験した方のお話でした。YMCA会館で河口さん、養護ホームで吉田さんからお話を伺うことができました。

河口さんは、建物疎開のために向かった先で原爆にあり、そのときいた学友には生死もいまだ不明という人もいるということです。防火水槽の中で亡くなっている人たちの横目にたどり着いた病院でキチンとした薬も塗ってもらえず、皮膚がむけて赤身になったまま、長男だからと家に向けて歩き続ける…とてもまねはできませんが、市民の方々は、その精神があったからこそ広島をよみがえらせることができたのだと思います。

吉田さんは、涙を浮かべて、「母親がどこで死んだのかも分からないし、遺骨すら拾えなかった。」「親に死なれることほど悲しいことはない。」と話してくださいました。

被爆者の方々の話を聞いて、56年たった今でも傷は癒えてい

ないのだと思いました。また、よく「半世紀もたった。」と言われますが、僕は「まだ56年しかたっていない。」そう強く思いました。「すべての心配がなくなつたとき、気兼ねがなくなつたときが私たちの終戦記念日。」とおっしゃる河口さんの言葉が鮮明に焼きついています。

3日間いろいろなることを考えさせられました。この広島、長崎の事実は決して風化させてはいけません。たとえ事実をすべて語り継ぐことが難しくても、被爆者の方々の思いはしっかりと引き継いでいかなければいけない、そして、二度と広島、長崎のようなことが起こらないようにしなければいけないと思いました。

最後に、碑に刻まれている「過ちは繰返しませぬから」：これは、亡くなった方々に対して戦争は繰り返さないという誓いですが、でも、僕はもう一つ意味があるように感じました。相手を全滅させるほどの核兵器をまだ持ち続ける現代に対して、そして自分たち戦争を知らない世代への戒めのような気がしました。



原爆ドームの前で

広島への想い

柳 和宏

1945年（昭和20年）、今から56年前の8月6日8時15分に、一発の原子爆弾が人類史上初めて投下された町、それが広島です。真っ白な光を放ち、一瞬にして広島の家、建物をなぎ倒し、家族、友だち、今までの自分を奪い去ってしまった原子爆弾。こんな悲しい惨劇をもう二度と起こしてはならない、との誓いを胸に広島に行ってきた。

今の広島は、緑があふれ、平和の象徴のハトが飛び交う町で、あのいまわしい惨劇が起きた場所とは思えない町になっていました。でも、所々にあ



原爆の子の像に市内の中学生が折った千羽鶴を供えました
左から阿部先生、池田さん、星名さん、柳くん、平澤くん

年前に起きた出来事の一つ跡が残されていました。中でも一番印象に残っているのが原爆ドームでした。当時、広島県産業奨励館として使われていた面影をまったく感じませんでした。鉄筋がむき出しになり、瓦礫の山があり、原爆が落とされたときの状態になっていました。

広島平和記念資料館には、原爆被災者の状況を示す人形、8時15分に止まった時計、人影が残された石などたくさん資料がありました。すべて目を見張るものばかりでした。ところが、「被爆者証言のつどい」で話してくれた美坂さん、舟入むつみ園の吉田さんの話を聞いていくうちに、資料館の展示以上のす



十日町市から持ってきた二千年蓮を慰霊碑に供えました

さまじい惨劇が起こったということを知りました。そのときのことをどう想像してみてもまったく浮かんできませんでした。想像できないほどのすさまじいことが起きたのだと思います。

当時のことを思い出すのも嫌だというのは、自分たちの体験したことを、両親の大切さなどを話していただき、私は、いろいろな感情が入り混じり、すごく悲しく、つらくなりました。もう二度とこんな過ちをしてはいけな

平和で原爆のない世界を作らなければ、またこんな過ちを繰り返してしまうから、これからは原水爆禁止運動などにも協力していきたいと思

地域の将来を
いっしょに考えよう！



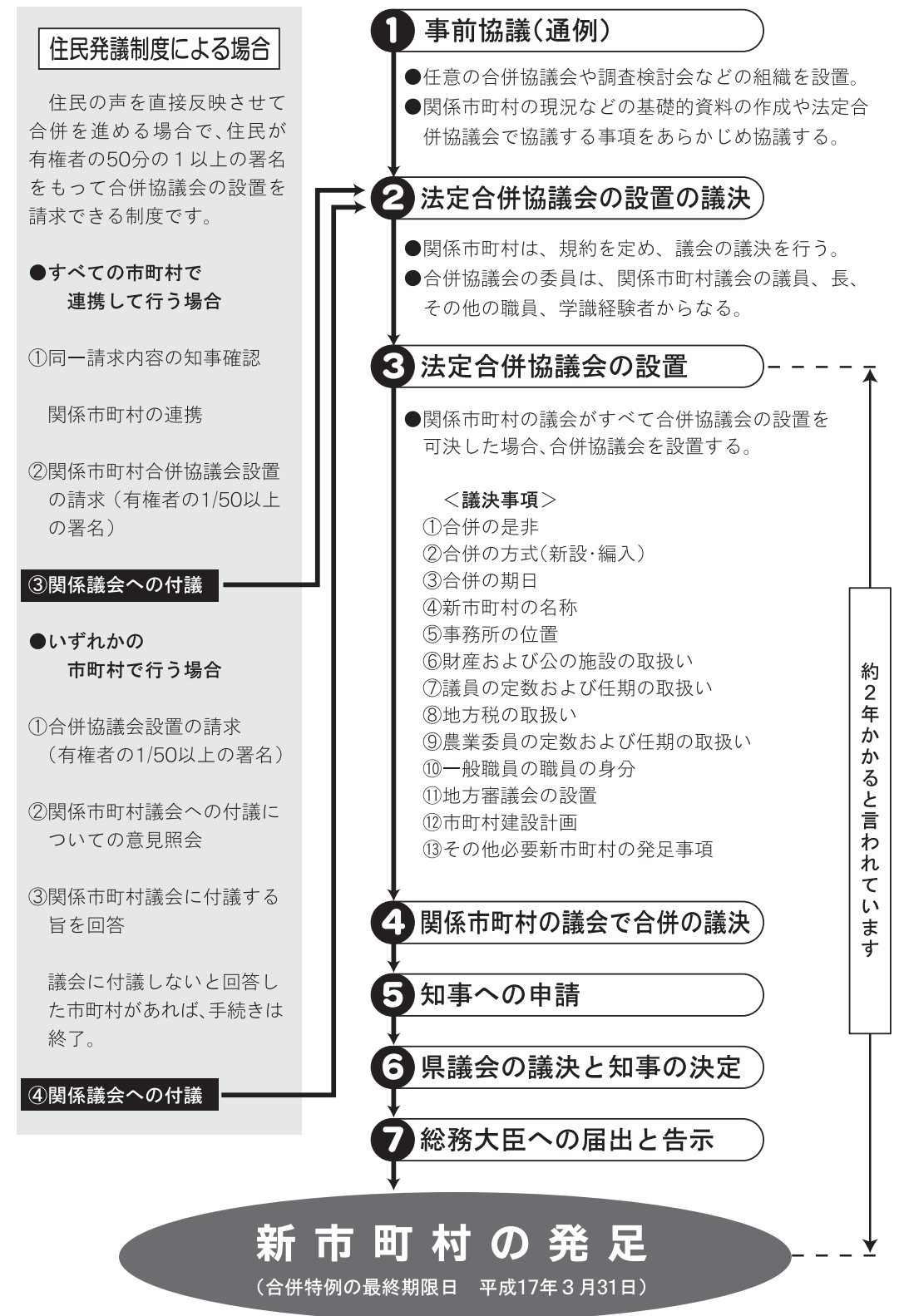
市町村合併

その4



市町村合併について4回にわたり紹介してきましたが、今回は最終回として、市町村合併までの流れなどについて紹介します。

合併の手続きは？



住民発議制度

近年、合併を目指した住民や経済団体などの活発な取り組みが全国的に見られます。こうした住民の意向を反映させるための制度として、住民発議制度が設けられており、有権者の50分の1以上の署名をもって、合併協議会(合併に関する関係市町村の話し合いの場合)の設置を請求できます。

合併協議会ってなあに？

地方自治法および市町村合併特例法の規定に基づき設置される協議会で、合併関係市町村の長およびその他の職員、議会の議員、学識経験者で構成されます。

ここでは、合併の是非も含めて、合併に関するあらゆる事項の協議が公正に行われます。協議会では、協議内容を住民の皆さんに公開しながら、新市の名称、住民負担および行政サービスなど各種制度の取扱いをはじめ、住民福祉の向上や新市の運営に影響のあるものすべてを対象として、具体的に話し合

急速に広がる市町村合併の動き

総務省が6月末日現在の合併協議会などの設置状況を調査したところ、設置数(予定数含む)は243、関係市町村数は1,247となり、全国の4割近くの市町村が、複数の市町村間で合併に関する何らかの調査研究組織を構成・参加していることが判明しました。

これを4月末日現在の設置数157、関係市町村数832と比較すると、設置数が86(+54・8%)、関係市町村数が415(+49・9%)増加しています。

●合併協議会などの設置状況(6月末日以降の設置予定数も含む)

	4月末日	6月末日	うち県内数
法定協議会	21 (75市町村)	25 (93市町村)	—
任意協議会	38 (186市町村)	38 (180市町村)	3 (22市町村)
研究会その他	98 (571市町村)	180 (974市町村)	8 (39市町村)
計	157 (832市町村)	243 (1247市町村)	11 (61市町村)

全市町村数(3224)の38.7%

市民の皆さんができること

- ◆いっしょになって考える
市町村合併についての取り組みに積極的に参加し、合併について理解や関心を高め、真剣に考えましょう。
- ◆自ら取り組む
市民の皆さんのイニシアチブによって市町村合併の検討を始めることができるように「住民発議制度」が制度化され、自ら市町村合併を主体的に推進していく環境が整えられています。

市町村の役割

- ◆現状の情報提供
市町村の財政状況、地域の課題、今後の見通しなどを住民の皆さんに情報提供し、市民・民間団体・議会・行政の4者で情報を共有することが必要です。
- ◆合併について検討を進める
議論を行う際に、合併の必要性や有効性、さらには地域の将来方向などについて明らかにし、さまざまな角度からの具体的な議論が必要です。

アンケート調査を実施します

市町村合併には、さまざまな検討課題があります。合併のメリット・デメリットを洗い出し、冷静な判断をすることが必要です。合併するしないにかかわらず、身近な問題として広く議論する時期がきています。

このため市では、今後、市町村合併について積極的な情報収集を行い、市民の皆さんへの情

報提供を行っていきます。まず最初に、住民の意識が現在どのような状態にあるのか把握するため、9月中に無作為に抽出する2,000人を対象としたアンケート調査を行います。

調査対象となった皆様については、何卒ご協力をお願いいたします。

■問合せ 企画人事課新行政推進係 ☎57-3111 内線217



明るく住みよいまちづくりに使われました

市の財政を市民の皆さんから知っていただくため、毎年8月と2月に財政のあらましを公表しています。今回は10・11ページが市の決算状況、12ページが市の6月末の予算執行状況、13ページが広域事務組合と衛生施設組合の決算状況と6月末の予算執行状況です。

12年度一般・特別会計の決算

(単位：万円・%)

会計名	歳入決算額①	前年度対比	歳出決算額②	前年度対比	差引額①-②
一般会計	198億4,234	△ 2.7	194億2,594	△ 2.8	4億1,640
特別会計	国民健康保険	+ 11.3	28億4,670	+ 13.0	3億1,191
	簡易水道	+ 5.5	7億1,944	+ 2.8	1億0,061
	下水道事業	△ 12.0	26億4,591	△ 12.1	1億1,748
	老人保健	△ 8.6	43億4,953	△ 7.7	△ 3,641
	農業集落排水事業	+ 134.8	10億0,904	+ 142.1	3,981
	介護保険	+ 100.0	17億4,947	+ 100.0	7,493
計	139億2,842	+ 16.8	133億2,009	+ 17.3	6億0,833
合計	337億7,076	+ 4.5	327億4,603	+ 4.5	10億2,473

市の一般会計と各特別会計の決算状況は右表のとおりです。

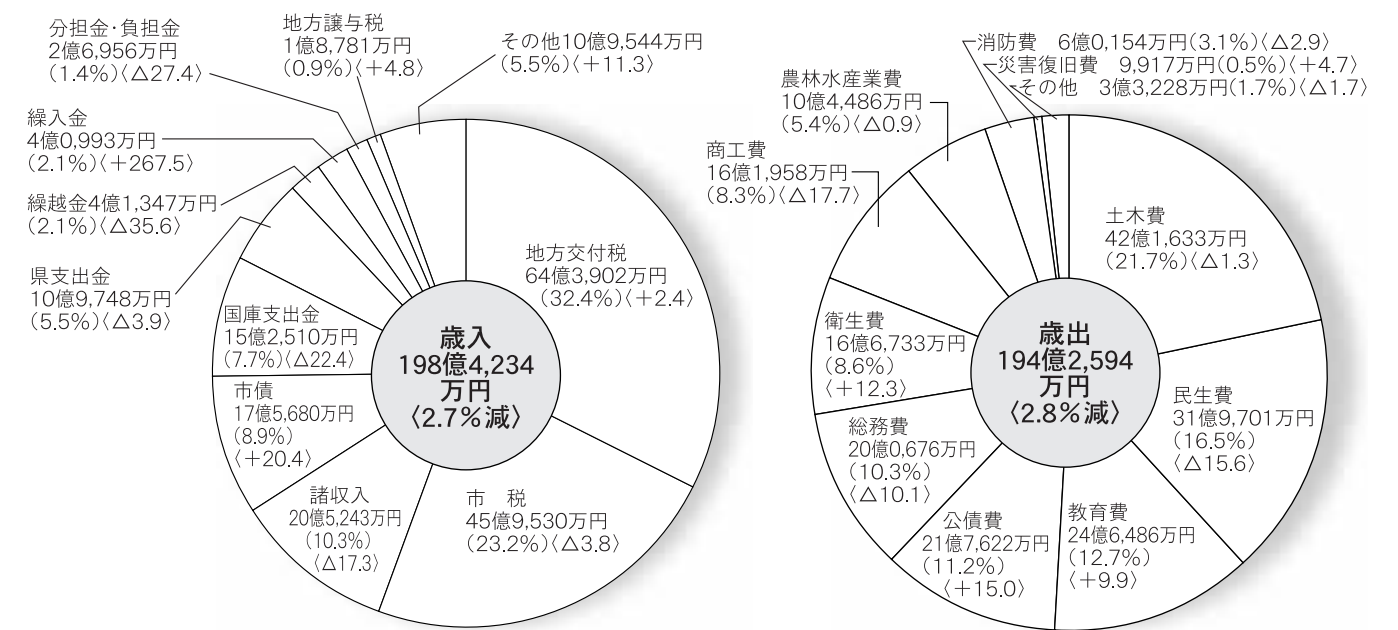
一般会計では歳入決算額198億4,234万円(前年度対比2.7%減)、歳出決算額194億2,594万円(前年度対比2.8%減)で、差し引き4億1,640万円となりました。

このうち、平成13年度への繰越事業分1億3,781万円を差し引いた2億7,859万円(前年度対比13.7%減)が、実質的黑字額で平成13年度へ繰り越されました。

下の円グラフは、一般会計の歳入・歳出決算の構成比です。歳入では地方交付税、市税、諸収入、歳出では土木費、民生費、教育費の順番です。

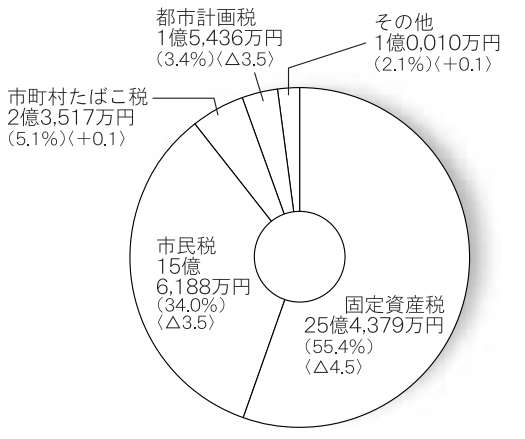
歳出194億2,594万円を市民1人当たりになると444,499円になります。土木費、民生費、総務費など、項目ごとの1人当たりの金額は11ページ左上の市民1人に使われたお金のとおりです。注：()内は構成比、< >内は前年度対比(単位：%)

歳入・歳出決算 (一般会計)



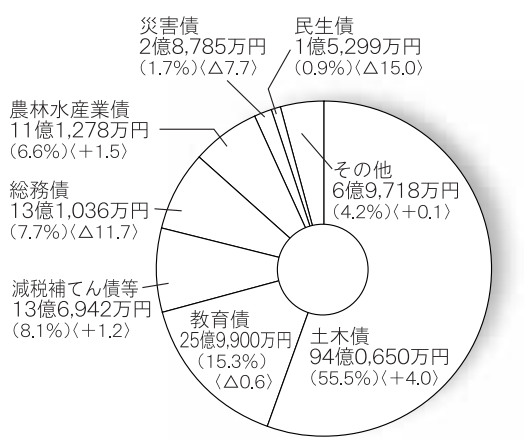
市税の状況

(総額45億9,530万円) (前年度対比3.8%減) 皆さんの納めた市税は、10ページ下の歳入円グラフのとおり歳入の大きな部分を占めています。45億9,530万円のうち、市民税と固定資産税で合わせて41億0,567万円、89.4%となっています。



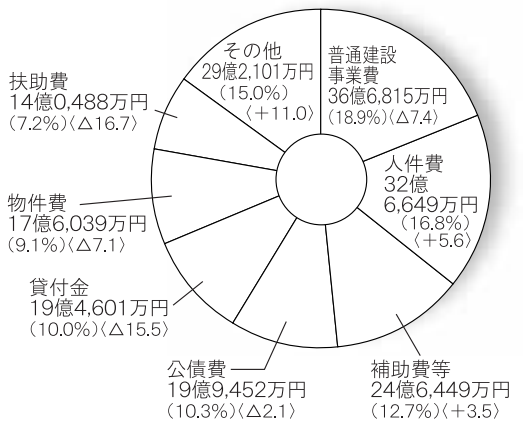
市債残高の状況

(総額169億3,608万円) (前年度対比0.9%増) 市債は、市が国や銀行などの金融機関から長期に借り入れるお金です。トップの土木債は道路や河川などの工事に、2番目の教育債は学校建設などに使われています。



性質別歳出の状況

歳出決算額194億2,594万円の使いみちを、同じ種類ごとに分けたものを性質別歳出といいます。これに対して10ページ下の歳出円グラフの土木費、民生費、総務費などに分けたものは目的別歳出といいます。



市民1人に使われたお金

10ページ下の円グラフの歳出決算額を、平成13年3月末住民基本台帳人口 43,703人で割った金額です。

歳出総額 1人当たり444,499円	商工費 37,059円
土木費 96,477円	公債費 49,796円
民生費 73,153円	衛生費 38,151円
教育費 56,400円	農林水産業費 23,908円
総務費 45,918円	その他 23,637円

財政の状況 (13.3.31現在)

土地	941万4,948.61m ²
建物	19万7,013.57m ²
有価証券	株券 5億7,565万円
学校基金	土地 7万5,352.74m ²
	立木 2,347.00m ³
土地開発基金	土地 3億6,842万円
	現金 3,658万円
その他基金(一般会計分)	現金 9億6,742万円

平成12年度一般会計のおもな仕事(単位：万円)

事業名	12年度	前年度
◆総務費	17,001	17,001
ニユーにいがた里創プラン推進事業	1	7
十日町まちづくりシンクタンク運営事業	1	7
◆民生費	3,508	3,508
老人福祉施設入所措置事業	1	8
介護予防・生活支援事業	2	3
知的障害者福祉事業	4	2
私立保育所運営委託事業	7	3
へき地保育所運営事業	6	7
◆衛生費	4,812	4,812
住民健康診査・がん検診事業	1	0
日本一の健康都市づくり事業	1	0
乳・幼児医療費等助成事業	4	4
予防接種事業	6	4
環境基本計画策定事業	2	2
◆農林水産業費	2,562	2,562
農業振興費・水田営農活性化対策事業ほか	2	5
農地整備・農村総合整備事業ほか	6	6
農業振興費	4	2
林業振興費	8	0
◆商工費	8,022	8,022
商工業振興補助事業	1	1
経済景気対策特別資金等貸付事業	1	1
雪まつりほか観光事業	6	2
◆土木費	9,866	9,866
道路新設改良事業	1	1
融雪施設建設事業	1	2
街路・公園整備事業	1	3
区画整理事業	5	1
市営住宅建設事業	0	5
◆教育費	6,900	6,900
不登校児童生徒対策等事業	1	1
小・中学校コンピュータ導入事業	4	4
ステップアップ運動・チャレンジ21教育推進事業	1	4
芸術・文化振興事業	1	1
国宝展示・発信事業	1	1
情報館管理運営事業	4	4
十日町中学校給食共同調理場・食堂建設事業ほか	3	3
十日町中学校武道場建設事業	1	3
健康体力増進事業	0	6

13年度一般・特別会計の6月末予算執行状況

(単位：万円・%)

右表は一般会計と各特別会計の平成13年度6月末の予算執行状況です。

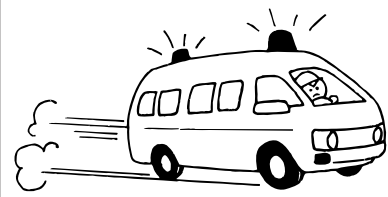
一般会計と特別会計の国民健康保険・簡易水道・下水道事業・老人保健・農業集落排水事業・介護保険が補正されて当初予算額よりも増加または減少しています。

一般会計についてみると6月末予算額179億0,682万円(前年度対比6.3%減)に対して、収入済額47億4,424万円(収入率26.5%)、支出済額38億3,552万円(執行率21.4%)となっています。

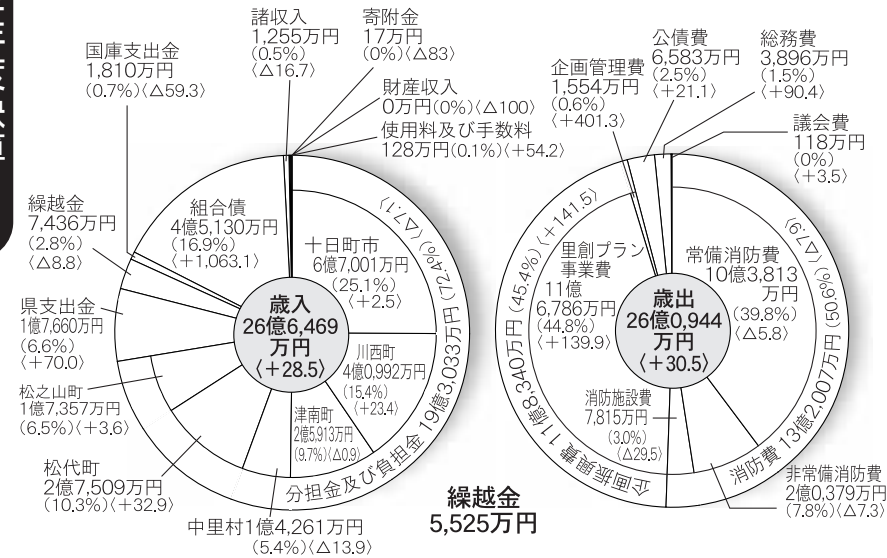
会計名	当初予算額	前年度対比	6月末予算額		収入済額	支出済額	
			前年度対比	前年度対比			
一般会計	178億8,500	△ 5.3	179億0,682	△ 6.3	47億4,424	38億3,552	
特別会計	国民健康保険	27億9,200	+ 5.6	27億8,807	+ 5.5	4億9,987	3億7,407
	簡易水道	8億6,190	△ 5.9	9億0,161	△ 3.7	1億8,850	2,560
	下水道事業	30億7,860	+31.5	34億0,868	+26.5	3億8,168	1億6,935
	老人保健	39億7,750	△ 9.2	40億3,213	△ 8.1	7億1,680	8億5,140
	農業集落排水事業	17億9,290	+65.1	18億0,630	+64.9	4,776	1,613
	介護保険	20億8,510	+11.0	21億0,264	+11.4	3億1,788	3億5,020
	計	145億8,800	+10.1	150億3,943	+10.2	21億5,249	17億8,675
合計	324億7,300	+ 1.0	329億4,625	+ 0.6	68億9,673	56億2,227	

十日町地域広域事務組合

十日町市、川西町、津南町、中里村、松代町、松之山町で運営する組合で、広域企画振興、消防・救急業務、総合福祉センター御陣荘、家畜指導診療所の事業を行っています。注：()内は構成比、()内は前年度対比(単位：%)



12年度一般会計の決算



12年度特別会計の決算 (単位：万円・%)

会計名	歳入額 (前年度対比)	歳出額 (前年度対比)	繰越金
と畜場事業	2,087 (+1.2)	2,087 (+1.2)	0
家畜指導診療所	5,796 (△8.2)	4,796 (△1.2)	1,000
土地取得事業	117 (△81.2)	117 (△80.3)	0

組合債残高の状況 (単位：万円)

消防庁舎建設事業	3,371
消防施設整備事業	9,744
地域総合整備事業	4億0,227
防犯まちづくり事業	4億3,060
里創プラン事業	4億3,060
公共用地先行取得等事業	6,140
合計	10億2,542

13年度一般・特別会計の6月末予算執行状況

(単位：万円)

会計名	当初予算額	6月末予算額	収入済額	支出済額	
一般会計	36億0,034	35億4,354	4億6,674	4億2,813	
特別会計	家畜指導診療所	4,434	4,434	1,925	1,216
	土地取得事業	5,132	5,132	66	60
	計	9,566	9,566	1,991	1,276
合計	36億9,600	36億3,920	4億8,665	4億4,089	

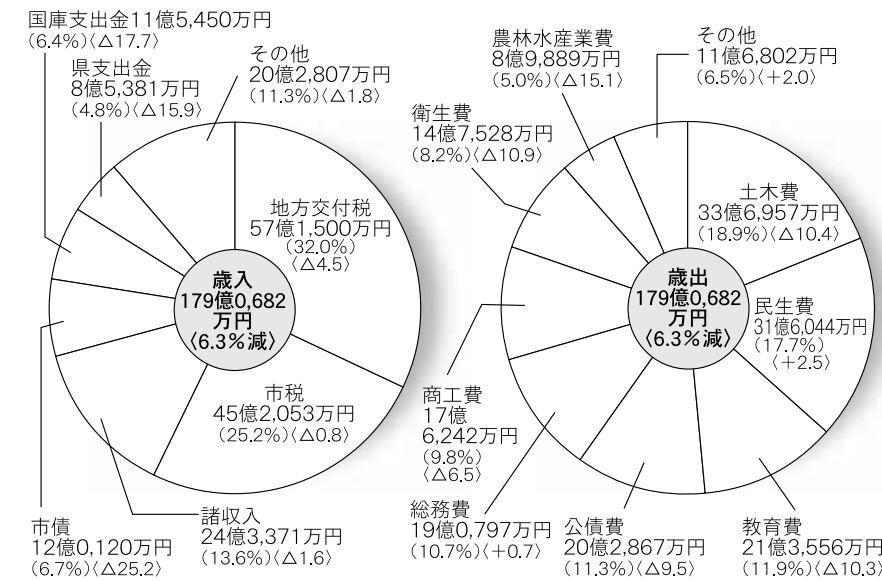
12年度出動・利用状況

(単位：万円)

	消防車等	救急車	総合福祉センター	家畜指導診療所
十日町市	92 ^件	1,007 ^件	—人	5,979 ^件
川西町	37	215	—	11,214
津南町	37	277	—	13,108
中里村	17	120	—	532
松代町	17	162	—	284
松之山町	19	156	—	283
圏域外	4	9	—	—
合計	223	1,946	3,098	31,400

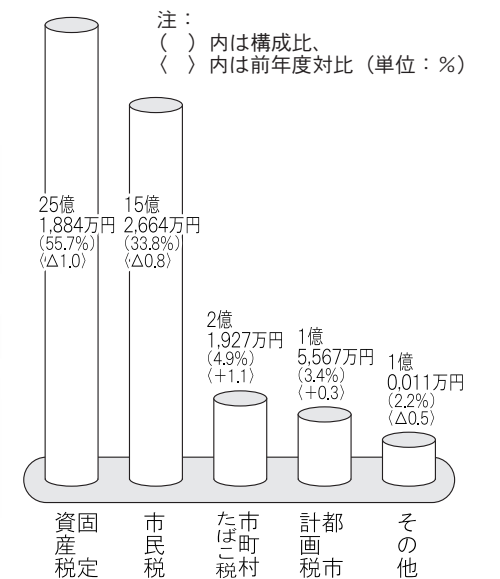
一般会計の6月末歳入・歳出予算

注：()内は構成比、()内は前年度対比(単位：%)



市税の状況 (総額45億2,053万円)

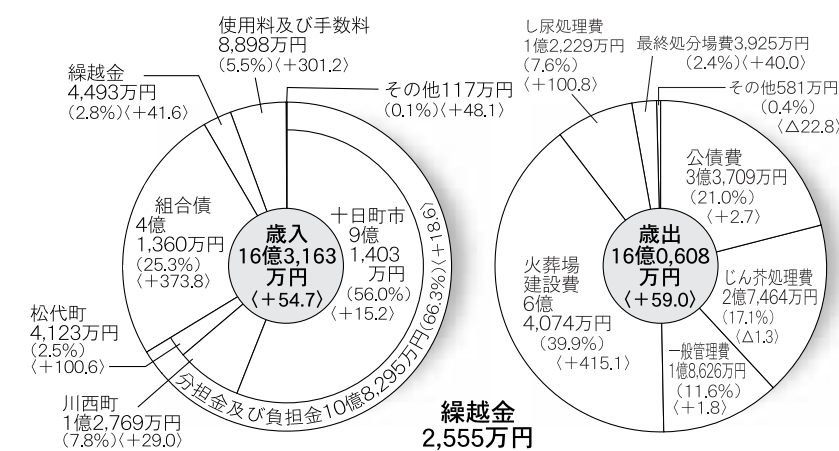
注：()内は構成比、()内は前年度対比(単位：%)



十日町地域衛生施設組合

十日町市、川西町、松代町で運営する組合で、ごみ処理、し尿処理、新火葬場の建設などの事業を行っています。注：()内は構成比、()内は前年度対比(単位：%)

12年度一般会計の決算



組合債残高の状況

(単位：万円)

ごみ処理施設	18億5,517
し尿処理施設	2億6,369
厚生福祉施設	5億0,090
合計	26億1,976

13年度一般会計の6月末予算執行状況

(単位：万円)

当初予算額	10億2,052
6月末予算額	10億2,052
収入済額	2億1,878
支出済額	1億2,341

公共事業執行状況

普通建設事業の13年度一般会計の6月末予算額21億5,104万円(前年度対比29.9%減)に対して、執行済額7億3,628万円、執行率34.2%となっています。

(単位：万円)

事業名	6月末予算額	執行済額(率)
普通建設事業	21億5,104	7億3,628 (34.2%)
補助事業	4億1,175	2億7,711 (67.3%)
単独事業	17億3,929	4億5,917 (26.4%)
合計	21億5,104	7億3,628 (34.2%)

注) 人件費・事務費およびほかの地方公共団体が実施する事業に対する負担金は除く。

市民1人に使われるお金

上の円グラフの歳出予算額を、平成13年6月末住民基本台帳人口43,764人で割った金額です。

歳出総額 1人当たり409,168円	総務費 43,597円
土木費 76,994円	商工費 40,271円
民生費 72,216円	衛生費 33,710円
教育費 48,797円	農林水産業費 20,539円
公債費 46,355円	その他 26,689円

トピックス

TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、企画人事課広報広聴係(☎57-3111 内線213)へ、お気軽にお寄せください。



道路の整備促進に尽力

～小林辰雄さんが道路功労者表彰を受賞～

道路整備事業の促進ならびに道路の愛護・美化保全などに尽力した個人・団体に対する道路功労者表彰が「道の日」にあたる8月10日(金)に行われ、小林辰雄さん(田中町本通り)が、(社)日本道路協会から表彰されました。当日は、十日町土木事務所において、堀所長から小林さんに表彰状と記念品が伝達されました。小林さんは、24年間にわたり流雪溝の運営にたずさわり、冬期の道路交通確保のため、市街地の克雪に尽力した功績が高く評価されたものです。全国では231、県内では13の個人・団体が表彰されました。



安全運転をお願いします

～川治小自転車が運転手300人にお願い～

夏の交通事故防止運動の一環として、8月8日(水)に川治小学校自転車の児童9人が、昭和町通りでドライバーに交通安全を呼び掛ける街頭活動を行いました。炎天下にもかかわらず、子どもたちは元気一杯に「安全運転をお願いします。交通事故をなくしましょう」と声をかけ、合計300枚のチラシを一人ひとりのドライバーに手渡していました。

夏の交通事故防止運動の一環として、8月8日(水)に川治小学校自転車の児童9人が、昭和町通りでドライバーに交通安全を呼び掛ける街頭活動を行いました。炎天下にもかかわらず、子どもたちは元気一杯に「安全運転をお願いします。交通事故をなくしましょう」と声をかけ、合計300枚のチラシを一人ひとりのドライバーに手渡していました。



全国の強豪が真夏の熱戦

～十日町カップ高校サッカーカーニバル～

恒例となった十日町カップ高校サッカーカーニバルが8月17日(金)から20日(月)まで十日町市陸上競技場など5会場で行われました。地元高校やJリーグユース、インターハイに出場した強豪校など16チームが全国から集まり、真夏の太陽が照りつけるなか、熱戦を繰り広げました。12回目を迎えたこの大会は、延べ200人を超える市民がスタッフとして大会を支えています。規模や継続年数、参加校の水準は県内でも群を抜いており、過去に参加したチームからは大変好評を得ています。▼優勝・日本大学高校、準優勝・アルビレックス新潟ユース



井上 麦 「地表より-森の足音」

十日町郵便局前

を目指し、平成7年から始まった石彫シンポジウムは、10年から第二期に入りました。作家と地域住民のつながりに重点を置き、市民生活の中に融和していくような空間づくりが進んでいます。また、8月5日(日)には「彫刻教室」が公開制作会場で開かれました。小学生など約40人が参加し、作品づくりを体験しながら芸術に親しんでいました。

富長敦也 「座る人物」

村尾電気駐車場



西村文男 「早春賦」

ポケットパーク (深雪観音堂跡地)

7月29日(日)から始まった第7回十日町石彫シンポジウムは、連日の猛暑のなか、4人の作家による総合体育館北側広場での公開制作が続いていました。そして最終日の8月19日(日)、完成した4作品が本町5・6丁目設置され、除幕式が行われました。今回新たに披露された4体を含め、40体の石彫が市内に設置されています。芸術文化のかおるまちづくり

藤巻秀正 「雪わらべ」

ポケットパーク (深雪観音堂跡地)



石との対話、街との調和

第7回十日町石彫シンポジウム

信濃川水なしサミット2001



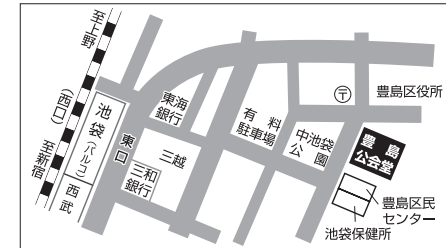
パネルディスカッション

「ダムと水力発電から見た都市と地方」

- ◆パネリスト
 - 田中康夫 (長野県知事)
 - 加藤幸子 (芥川賞作家)
 - 嶋 悌司 (朝日酒造株式会社 代表取締役参与)
 - 本田欣二郎 (十日町市長)
- ◆コーディネーター
 - 大熊 孝 (新潟大学教授)

古来、信濃川の清らかで豊かな流れは地域の自然や文化を育み、押し出す土砂は日本を代表する広大な穀倉地帯である越後平野を形成してきました。しかし、信濃川中流域では昭和初頭に国策として発した数々の水力発電開発によって、多量の流水が取られ、魚も住めない瀬死の石河原と化しています。このような深刻な現状を、首都圏の電力受益者の皆さんからも理解していただくとうと、信濃川水なしサミットを初めて都内で開催します。地元の方々からも多数参加をいただきたく、当日は大型バス(有料)にて送迎も行います。郷土を愛するあなたの参加を心よりお待ちしております。

日時 9月14日(金)
午後7時～
開場午後6時30分
会場 豊島公会堂
東京都豊島区
池袋1丁目20-10
池袋東口より徒歩5分



サミット往復バス利用者募集中

- ◆行程 (行き) 正午：市役所前出発～午後5時：豊島公会堂着
(帰り) 午後10時：豊島公会堂発～午前2時：市役所前着
- ◆費用 一人5,000円(夕食別) ◆定員 先着60人
- ◆申込み 9月7日(金)までに実行委員会事務局(建設課内☎57-3111内線273)へ

部門	作品規格
日本画	額ぶち付きのこと(100号程度まで)
洋画	油絵・水彩・パステル、額ぶち付きのこと(8号～100号まで)
版画	額装(ドライマウントは不可)。モノタイプ版は除く。(幅116cm以内)
現代美術	常識以上の大きさを超えないこと
彫刻	常識以上の大きさを超えないこと
工芸	染・織・焼物・つる・漆・草・木・竹・わら・紙工芸など。(幅・縦とも200cm以内)
書道	額装または枠張り表装のこと。(縦額は幅76cm以内、縦182cm以内。横額は幅152cm以内、縦76cm以内) ※積文票添付
写真	単写写真は全紙以上、全倍まで。木製パネル張り(額ぶち不可)。組写真および全倍パネルの大きさが長辺103cmまで

■出品作品 ①各部門とも1人2点以内。未発表作品に限る。作品を額装する場合はガラス不可
■出品料 一般・1点1,000円、2点1,500円、高校生以下・1点500円
■作品搬入 搬入：10月23日(火)午前9時～午後8時30分に会場に持参。搬出：10月30日(火)午後4時30分～6時30分
■審査会 10月24日(水)午後3時～5時30分
■問合せ 社会教育課(公民館本館内☎57-5011)

第34回
十日町市美術展作品募集
【会期】10月27日(土)～30日(火)
【会場】市民体育館

「下水道 あなたと水を むすぶみち」
9月は下水道促進月間です
下水道は、私たちが安全で快適な生活を送るための大切な役割を担っています。さらに下水道は河川、湖沼、海などの公共用水域の水質汚濁防止に重要な役割を果たすとともに、良好な水環境を創り出すために、必要不可欠な生活基盤施設です。下水道のことを、みんなで考えてみませんか。

下水道排水設備工事責任技術者資格試験・受講者講習会

排水設備工事は、新潟県で行う認定試験に合格し、登録を受けた責任技術者でなければ行うことができません。

- ◆受験資格
 - ①土木および建築関係などの専門課程を卒業した人
 - ②高校卒業以上で実務経験1年以上の人
 - ③実務経験2年以上の人
- ◆受験・受験講習申込受付期間 9月3日(月)～14日(金)
- ◆場所 下水道課
- ◆試験
 - 期日 11月18日(日)
 - 会場 中越高等学校(長岡市)
 - 受験料 3,000円
- ◆受験講習
 - 期日 11月1日(木)

下水道水洗化普及率 (平成13年6月30日現在)

	対象棟数(戸)	接続棟数(戸)	水洗化率(%)
公共下水道	中央第一処理分区	2,588	97.0
	中央第二処理分区	1,739	92.7
	川治処理分区	1,189	82.8
	新座大井田処理分区	1,203	48.9
	計	6,719	84.8
特定環境下水道	888	507	57.1
農業集落排水(吉田北部)	387	350	90.4
農業集落排水(鏡島)	371	205	55.3
全体計	8,365	6,757	80.8

会場：ハイブ長岡(長岡市) 受講料：5,000円
◆問合せ
下水道課(下水処理センター) 内☎52-7441 または(助) 新潟県下水道公社(☎025-271-1151)

市の融資制度の一部改正(お知らせ)

十日町市内では、地場産業が長引く不況により景気の低迷が続いていることから、市の融資制度の新規貸付利率を、一部下表のとおり引き下げました。

融資制度名	貸付金利	限度額	期間	用途	取扱金融機関名	市役所問合せ先
中小企業振興資金(新規分)	2.40%→1.95% 2.90%→2.45% 上段…信用保証付 下段…信用保証無	500万円	5年	設備・運転	第四銀行	商工観光課 ☎57-3111 内線264
地方産業育成資金(新規分)	2.40%→1.95% 2.90%→2.45% 上段…信用保証付 下段…信用保証無	1,000万円	設備7年 運転5年	設備・運転	北越銀行	
企業設置資金(新規分)	2.40%→2.05%	15,000万円 (特認時2億円)	11年以内	用地取得造成建設 機械設備設置	大光銀行	
小売商業近代化資金(新規分)	2.40%→2.05%	3,000万円	10年	設備、店舗改装	新潟県信用組合(十日町・下条)	市民生活課 ☎57-3111 内線159
公害防止資金(新規分)	2.30%→2.05%	1,000万円	7年	公害防止除去等機器設置、工場移転	十日町農協	

◎適用の日 地方産業育成資金は平成13年7月31日にさかのぼり、他の資金は8月30日から適用します。



おしえてください
環境にやさしい
あなたの取り組み

これまで8月に開催していた「環境フェア」を、今年は9月29日(土)・30日(日)に健康づくりフェア・市民福祉まつりと同日開催します。実行委員会では、皆さんが家庭で行っている「環境への取り組み」を募集し、環境フェアで展示・紹介することになっています。あなたの素敵な取り組みをおしえてください。
■募集内容 ①ごみ減量、リサイクル、環境保全、環境美化などご家庭で取り組んでいること
■応募方法 ①工夫した品物や発明品、写真、イラストなど形式は問いません。文書の場合は、どのような方法なのかをくわしくお書きください。(800字以内)
■問合せ・申込み 9月14日(金)までに市民生活課生活環境係(☎57-3111内線157)

Buon Giorno! COMO-TOKAMACHI 65

イタリアのペヴァンデ（飲み物）を考える



猛暑が続くと、10年前のイタリアの暑い夏に海辺でよく愛飲したテ・フレッド・アッラ・ベスカ（アイス・ピーチ・ティー）がむしょくに恋しくなります。文字通り、桃風味の紅茶を冷やしたもので、グラスの中にはたくさんの砕いた氷と大きな桃の果肉が入っています。家庭であの味を出すのはなかなか難しいですが、普通の紅茶と市販の桃ジュースを3対1でブレンドし、そこに桃の果実8分の1と氷をたっぷり入れます。桃ジュースは果汁100%より30%以下のほうがいいと思います。また、紅茶専門店に行き、桃の香りの茶葉を購入するのもひとつです。ぜひお試しください。

どちらかといえば紅茶よりコーヒー文化のイタリアですが、イタリアのコーヒーといえばエスプレッソで

す。エスプレッソ（ESPRESSO）は「特急」という意味で、蒸気ので急速に抽出するところ由来しています。30ccほどのわずかなエスプレッソに砂糖を1～2さじ入れてかき混ぜ、一気に飲むのがコクと香りを引き立てる飲み方ようです。最近よく聞くカフェ・ラテはCAFFE（コーヒー）とLATTE（牛乳）の意で、まろやかな飲み心地が好評です。カプチーノ（CAPPUCCINO）は直訳すれば「カプチン修道士」、修道服の色に似ていることから名づけられたようですが、泡立ったスチームミルクを加えた滑らかさの中にほろ苦さが生きていてコーヒー好きにはたまりません。

（姉妹都市協力員 当重茜さん）

9月の交通安全キャンペーン

お年寄りの交通事故防止

平成12年中の十日町警察署管内における交通事故の発生件数は376件、そのうち高齢者が関係した事故は103件と、全事故の約27%を占めています。103件を状態別で見ると、自動車運転中が58件と最も多く、ついで原付車運転中が17件と、自動車・原付車の運転中の事故で約73%を占めています。

夕暮れが早まるにつれ、高齢者事故の多発が心配されます。交通事故を起こさないよう、また、あわないように注意しましょう。



7月の交通事故発生状況（ ）内は1月からの累計

年	発生件数	負傷者数	死者数	物件事故数
13年	15 (120)	17 (139)	1 (3)	46 (336)
12年	18 (139)	21 (160)	0 (3)	38 (353)

8・9月の全国大会に 5種目32人が出場

8～9月に開催される、各種全国大会に出場する選手にエールを送ろうと、8月17日(金)に保健センターで出場選手激励壮行会が行われました。晴れ舞台での活躍が期待されます。

出場大会と選手名はつぎのとおり。(敬称略) ▼全日本中学校 陸上・田川絵梨、小川将吾、春日恵、▼全国小学陸上・茂野優香、村山未希、水落陽呂嘉、曾根瑞希、小林祐佳 ▼全国中学相撲・市村太貴 ▼ジュニア五輪水泳・須藤一毅、須藤真央 ▼宮城県国体ゴルフ競技・田村潤子 ▼全日本軟式野球・十日町フエニックス監督村山和夫、野上健、徳永広明、高橋政晴、西畔克裕、



問合せ＝総合体育館
(☎52-4377)

8月後半から9月にかけて開催される5種目の全国大会(6大会)に、市内からは小・中学生と一般の、計32人が出場します。激励壮行会では、本田市長と榎澤英男十日町市体育協会長から励ましの言葉が贈られました。



宮下友哉、俵山博安、丸橋豊、小林学、前川茂郎、石沢忠孝、池田和幸、徳永英明、小林孝大、松井晃一、小林弘樹、星野和彦、村山智、高野威光、細井哲明

●めざせ! キャンプ誘致



開幕まであと279日

Vol. 5

世界各地で熱戦展開中

大陸別予選真つ最中

2002年W杯本大会の出場国は全部で32か国です。開催国の日本・韓国、前大会優勝国フランスの3か国を除く、残り29の出場枠をめざし、世界中で大陸別予選が行われています。すでに予選が終了したアフリカでは、シドニーオリンピックの優勝国カメルーンをはじめ、南アフリカ、セネガル、ナイジェリア、チュニジアの5か国、南米ではアルゼンチンが本大会出場を決めています。

首位に位置し、予選突破は確実視されています。出場国は、W杯日本組織委員会(JAWOC)から配布される公認キャンプ候補地リストを基準にキャンプ地を選定することになっています。キャンプ誘致をめぐる戦いもこれからが正念場となります。

公式ポスターに 平野壮弦氏作品を採用

大会開幕300日前に合わせ、JAWOCは8月3日(金)、都内で公式ポスターを発表しました。ポスターは日韓両国に共通する伝統芸術の書道の技法で、サッカーコートを図案化したデザインとなっています。日韓の書道家、平野壮弦氏(川西町出身、十日町高校卒)と下秋錫(ピョン・チュウ・ソク)氏が毛筆独特のスピード感あるタッチで描いたものです。平野氏は十高の甲子園出場時にも毛筆による激励メッセージを選手に寄せてくださいました。

Q 各大陸別の出場枠は?

A 出場枠は、大陸別に行われる予選の参加国数の多少ではなく、強豪国の多い欧州や南米に多く割り振られています。各大陸の出場枠は、アジア<2または3(1か国は欧州とのプレーオフで決定)>、アフリカ<5>、北中米・カリブ<3>、南米<4または5(1か国はオセアニアとのプレーオフで決定)>、オセアニア<0または1>、欧州<13または14>です。予選は11月末までに終了し、出場国が出そろったことになっています。



マイレールほくほく線

ほくほく線

9月の
ほくほく線沿線情報

〈アルプの里コスモまつり〉▼9月1日(土)から30日(日) 湯沢高原アルプの里 ▼越後湯沢駅から徒歩10分 ▼スタンプラリー、お楽しみ商品袋販売、ソフトドリンク販売など ▼湯沢温泉ロープウェイ事業所 (☎0257-84-3326)

〈県立近代美術館巡回ミュージアム〉▼9月21日(金)から30日(日)まで。開館時間午前9時から午後5時 ▼ふるさと会館 ▼まつだ い駅から徒歩0分 ▼県立近代美術館の収蔵作品の中から約30点を展示。内容はピカソから浮世絵までと多様・多様 ▼入場無料 ▼松代町教育委員会 (☎02559-7-2301)

〈大池まつり〉▼9月23日(祝) 大池いこいの森第3キャンプ場 ▼大池いこいの森駅から徒歩15分 ▼地物野菜の販売、コイのつかみ取り、地酒・豚汁のサービスなど ▼頸城村役場産業課 (☎0255-30-2311)

〈ほくほく線沿線情報誌ほくほく〉旅のおともに、地域の再発見に、沿線の魅力を満載した情報誌をぜひご活用ください。ほくほくは、商工観光課とほくほく何でも案内所(ほくほく線十日町駅構内)に置いてあります。



ガイド



「ラ・ファイタ」コンサート

催し

伝統的な山の歌やイタリア民謡を中心に活動する、イタリアロンバルディア州(姉妹都市コモ市と同州)の男声合唱団「ラ・ファイタ」の公演です。地元コーラスグループや十日町出身のソプラノ歌手、当重茜さんも出演します。■日時 9月16日(日)午後6時30分(開場:6時) 会場 市民会館 入場料 前売:1,000円(学生500円)、当日:1,200円(学生700円)、中学生以下無料 チケット取扱所 公民館本館、各地区館 問合せ 公民館本館 (☎57-5011)

女・男セミナー 「ゲキ白!子育て」

子育て進行中の仲間がいきいきと演じる劇です。悩みや問題を考え、劇を通じてよりよい子育てや家庭の在り方を探ります。劇を見た後コーヒーを飲みながら語り合い、ますます子育てが楽しくなるように元気を見つけてみましょう。保育ルーム(利用料100円)もあります。■日時 9月15日(敬老の日) 午後1時30分~4時30分 会場 ラポート十日町 参加費 500円 ■申込み・問合せ 9月10日(月) 保育ルームは9月5日(水)までに企画人事課企画係(内線216)

藤原由紀乃 ピアノ・リサイタル

■日時 9月14日(金)午後7時(開場:6時30分) 会場 市民会館 入場料 2,000円 チケット取扱所 公民館本館、クロス10ほか 問合せ 公民館本館 (☎57-5011)

プロから直接個人レッスンを受けられる絶好の機会です。■

プロミュージシャンによる音楽クリニック

プロから直接個人レッスンを受けられる絶好の機会です。■

9月のなかよしランド

親子(3歳未満児)のふれあいの場を提供します。■日時 9月4日・11日・18日・25日の各火曜日午前10時~11時 ※18日は吉原久美子先生を迎えます。■会場 市民体育館 ■申込み・問合せ 公民館本館 (☎57-5011)

どんぐり 「おはなしのへや」

読み聞かせ、パネルシアターなどを行います。■日時 9月8日(土)午後3時 会場 十日町情報館 ■問合せ 十日町情報館

ふれあい看護体験 2001

一日看護婦(士)体験を実施します。■日時と実施病院 10月11日(木)・上村病院 10月12日(金)・厚生連中条病院 ■対象 社会人 ■参加費 無料 ■申込み 9月1日(土)必着で往復はがき(住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、白衣のサイズ、参加動機、希望病院を記載)を新潟県看護協会ふれあい看護体験係(〒951-8133 新潟市川岸町2-11)へ郵送。■問合せ 新潟県看護協会 (☎025-265-1225)

十日町ステージ見直し署名の内容

「里創プラン十日町ステージの見直しを求める市民の会」(村山久夫代表)から8月1日(水)、十日町地域広域事務組合管理者十日町市長本田欣二郎あてに、十日町ステージ見直し署名簿が提出されました。十日町地域広域事務組合および市では、提出された署名簿の内容について、①重複署名(同一人が2回以上にわたり署名を行っているもの)②選挙権を有しない人の署名(20歳未満の人や市外在住の人など)③同一筆跡者による署名(同一人が同じ世帯の人の署名を行っているもの)の3項目の点検を行いました。その結果をお知らせします。

※署名総数(村山代表から説明のあった総数)15,806人

このうち、

①重複署名	2,210人
②選挙権を有しない人の署名	845人
③同一筆跡者による署名	7,685人
合計	10,740人

以上のことから、署名総数のうち有権者の自筆署名数は5,066人でした。ただし、この自筆署名数には複数の世帯の氏名を一人の人が書いたものが含まれていますので、正確な集計はしていませんが、実際に自分で署名した人は、さらに少なくなります。

日時 9月22日(土)午後1時(受付:0時30分)~3時30分 会場 市民会館 ■講習楽器と講師 ■ギター杉本喜代志、トランペット岡野等、サククス藤原幹典、ピアノ鶴野美香、ベース河上修、ドラムス斉藤純 ■受講料 1,000円、中学生は無料 ■対象 中学生以上 ■申込み・問合せ 前日までに公民館本館 (☎57-5011)

ジャズ・ライブ 「セッション2001」

音楽クリニック講師によるコンサートです。一般の人もお楽しみください。■日時 9月22日(土)午後4時 会場 市民会館 入場料 1,000円(クリニック受講料納入者は無料) ■問合せ 公民館本館

第6回鹿島杯 女流将棋トーナメント 決勝戦inベルナティオ

■日時 9月7日(金)午前10時30分(開場:10時)~午後4時 会場 ベルナティオ ■観戦料 2,000円(昼食付き) ■定員 先着30人 ■対局者 中井広恵 女流五段 対 碓井涼子 女流二段 ■申込み・問合せ ベルナティオ (☎58-4141)

募集

2002年新潟県 子どもの女王募集中

コンテストは10月21日(日)午後0時30分~十日町市民会館で行われます。■応募資格 ①新潟県内に居住または通勤・通学している「きもの」が好きで「きもの」が似合う女性 ②年齢 18歳以上25歳以下(11月末現在) ③学歴 高等学校卒業または同程度以上 ④興行会社や団体などと専属契約がないこと ■応募方法 応募用紙(問合せ先に配置)に写真をはり、9月5日(水)(当日消印有効)までに新潟県きもの振興会(応募用紙参照)に提出 ■問合せ 十日町織物工業協同組合 (☎57-9111)

スポーツ

市民プール閉場

市民プールは8月31日(金)をもって閉場します。ご利用ありがとうございました。

青級フェスティバル・アドベンチャースクール

■日時 9月15日(土) 午前9時(受付:8時45分)~正午
■会場 公民館本館
■対象学年 小学生(3年生以上)
■申込み・問合せ 9月6日(木)までに、公民館本館 (☎57-5011) または少年育成センター (☎57-8918)

コース	定員	参加費	必要な物	内容
①手話紙芝居	20人	無料	筆記用具	紙芝居を使って日常手話を分かりやすく楽しみます。
②紙芝居を作ろう	20人	100円	筆記用具	友だち同士で楽しくおもしろい紙芝居を作ります。
③パソコンでお絵かき	14人	200円	筆記用具	パソコンを使ったお絵かきとデジタルカメラで遊びます。
④ミニドラマづくり	5人	200円	筆記用具	企画・出演して楽しいミニドラマを作ります。
⑤焼きものでペン立てづくり	20人	300円	手ふきタオル	焼物であなただけのステキなおもしろいペン立てを作ります。
⑥牛乳パックでペン立てづくり	20人	200円	筆記用具・カッター・ハサミ・定規・牛乳パック2個・包装紙	牛乳パックを使ったおもしろい形のペン立てを作ります。
⑦ブーメラン	20人	200円	筆記用具・ハサミ	ブーメランを作り遊びます。

十日町ユーモアクラブ 30周年記念公演

■日時 9月9日(日)午後1時30分(開場:1時) 会場 市民会館 入場料 500円 ■チケット取扱所 公民館本館、クロス10 ■問合せ 熊木 (☎57-8431)

なつめる歌謡ショー

■期日 9月30日(日) 開演時間(2回公演) 午後2時と午後6時30分 会場 市民体育館 ■前売券 1,200円 ■チケット取扱所 問合せ 共同募金会(社会福祉協議会内) ☎50-10

第15回十日町 長距離カーニバル

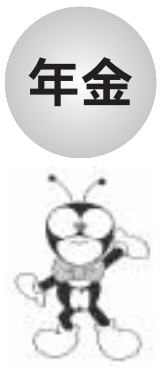
■日時 9月23日(秋分の日) 午前8時30分 競技開始(予定) 会場 十日町市陸上競技場 ■競技種目 小学生男子1,500m、小学生女子800m、中学生男子3,000m・5,000m、中学生女子1,500m・3,000m、高校・一般男子5,000m・10,000m、高校・一般女子3,000m・5,000m ■参加費(二種目) 小学生500円、高校生1,000円、一般1,500円 ■申込み 9月7日(金)(必着)までに申込書(総合体育館に配置)に参加費を添えて総合体育館へ。■問合せ 総合体育館 (☎52-4377)

「ご利用ください」 国民年金の前納制度

国民年金には、保険料を事前に納めることのできる前納制度があります。前納制度を使うと納める手間が省け、納め忘れの心配もなく、保険料の割り引きもあつて大変便利です。現在、10月~来年3月までの6か月分の前納を受け付けています。電話申込みもできますので、希望する人は9月28日(金)までにお申し込みください。■問合せ・申込み 市民生活課国民年金係

国民年金の現況届は すみやかに

国民年金の現況届は、受給者が引き続き年金を受ける権利があるかどうかを確認するための届です。1年以上継続して年金を受給している人に、年1回、誕



	定額保険料の場合	付加保険料の場合(定額保険料含む)
毎月納付(6か月分)	79,800円	82,200円
6か月前納	79,150円	81,530円
割引額	650円	670円

税



新世紀明るい未来を税金で 8月の納税

8月は市・県民税第2期と国民健康保険料第2期の納税・納付の月です。期限内に納めましょう。
■問合せ 税務課(内線115)

保健福祉



骨粗しよう症検診 受診者募集

骨折は寝たきりになる原因のひとつです。女性の骨量は40代から減少します。健康づくりフェアで検診を行います。■期日 9月30日(日) (詳細は後日通知します) ■会場 クロス10 ■対象者 昭和7年4月2日〜37年4月1日生まれの女性 ■定員 300人(申込受付順) ■受診料 1,000円(当日徴収) ■申込み(検診当日申し込み不可) 9月7日(金)までに健康福祉課健康増進係(内線143)

「障害者110番」 巡回専門相談会

弁護士と障害者110番相談員が人権、財産などの法律相談を無料でお受けします。秘密は厳守します。■日時 9月19日(水)午後1時〜3時 ■会場 川口クロス10日町 ■申込み・問合せ 9月13日(木)までに障害者110番(新潟ふれ愛プラザ内) ☎025-381-0110

その他



9月の休館日

■公民館本館 毎週月曜日 ■総合体育館 毎週火曜日 ■博物館 3日(月)・10日(月)・17日(月) ■情報館 毎週月曜日・15日(敬老の日)・28日(金) ■勤労青少年ホーム 毎週日曜日・15日(敬老の日)・24日(振替休日)

社会生活基本調査に ご協力ください

総務省統計局(新潟県)では、10月20日現在で社会生活基本調査を実施します。生活時間の過ごし方や社会生活での活動の実態を調査し、国民生活の向上を

9月の献血



全血献血

■期日 ①14日(金) (※1) (株)丸山工務所(※2) (株)シルクワーク ②30日(終日) クロス10 ■受付時間 ※1 午前10時〜11時30分、※2 午後0時30分〜午後3時、終日 午前10時〜正午、午後1時〜3時 ■問合せ 健康福祉課保健予防係(内線141)

予防接種



三種混合 (百日せき・ジフテリア・破傷風)

二種混合 (ジフテリア・破傷風)

■1期初回に該当する子 ①9月1日現在1歳〜接種日現在7歳未満の子 ②未接種か3回接種をしていない子 ※百日せきにかかった子は二種混合(2回接種)になります。受付に申し出てください。③平成12

図る諸政策を立案するための基礎資料とするものです。十日町市では、高田町3丁目西と上新田第2が調査区になります。9月上旬に調査員がお願いにうかがいます。■問合せ 新潟県統計課(☎025-285-5511内線2437)

十日町市指定金融機関 が交替します

9月1日から2年間、十日町市指定金融機関が(株)第四銀行(取扱店十日町支店)に替わります。

消火器の不適正な訪問販売にご注意ください

市内で訪問による不適正な消火器販売が繰り返されています。地元業者の名を語り信用させ、すでに設置してある消火器は消火剤がしきって使えないなどと偽り、6千円前後で購入できるものを2万円前後で売りつけるものです。ご注意ください。■問合せ 十日町地域消防本部 予防課(☎57-1557)
へおわびと訂正
■7月25日号青春リレーの福原潤さんの生まれた年に誤りがありました。正しくは1975年です。訂正しおわびします。

三種混合 (百日せき・ジフテリア・破傷風)

二種混合 (ジフテリア・破傷風)

年3月2日から9月1日に生まれた子には個別通知をします。■1期追加に該当する子 接種日現在7歳未満で、1期初回完了後1年を経過した子。 ■注意事項 1 「予防接種と子どもの健康」を読んでください。 ■持参するもの 母子健康手帳(忘れると接種は受けられません) ▼体温計 ▼当市に住民登録をしていない場合は、登録先の市町村が発行する「予防接種実施依頼書」を持参してください。 ■問合せ 健康福祉課保健予防係(内線141)

2002FIFAワールドカップ 公認キャンプ ボランティア募集



「2002FIFAワールドカップ」キャンプ地の十日町市への誘致や運営をいっしょにサポートしてくれるボランティアを募集します。

活動内容 各種イベントの運営協力・警備の補助・案内所などのインフォメーション活動・メディア対応・ボランティア事務局運営など

活動期間 2001年9月1日〜2002年7月31日
条件 申込み時点で18歳以上の人
待遇 報酬・交通費は支給しません。
申込み 申込書(市リポート推進室・公民館・総合体育館に配置)を市リポート推進室へ。8月27日(月)から当分の間受け付けます。
問合せ 2002年FIFAワールドカップ公認キャンプ十日町誘致実行委員会事務局(市リポート推進室内 内線205)

対象地区	1 期 初 回			1期追加
	1回目	2回目	3回目	
川治・六箇・水沢	9月11日(火)	10月2日(火)	10月23日(火)	11月2日(金)
十日町	9月13日(木)	10月4日(木)	10月25日(木)	11月6日(火)
中条・下条・吉田	9月14日(金)	10月5日(金)	10月26日(金)	11月7日(水)

■会場=保健センター
■受付時間=午後1時30分〜2時15分(時間厳守)

9月の乳幼児健康診査と休日救急医

事業名	期日	受付時間	対象児
3歳児健診 (3歳6か月児が対象です)	21日(金)	午後1時〜1時30分	10年3月生まれの幼児
1歳6か月児健診	19日(水)	午後1時〜1時30分	12年3月生まれの幼児
4か月児健診	26日(水)	午後1時〜1時30分	13年5月生まれの幼児
2歳6か月児身体測定	18日(火)	午前9時〜9時30分	10年2・3月生まれの幼児
10か月児身体測定	26日(水)	午前9時15分〜10時	12年11月生まれの幼児

期日	医療機関名	住所	電話番号
2日(日)	大熊内科医院	山本町1	52-7066
9日(日)	山口医院	袋町中	52-2174
	中条病院	北原	57-3018
15日(祝)	第二藤巻医院	川西町	68-2018
16日(日)	小林内科医院	中条中町	52-7155
	上村病院	中里村	63-2111
23日(日)	山口医院	下条中央通り	55-2003
24日(振替休日)	大島医院	川原町	52-2957
	津南病院	津南町	65-3161
30日(日)	大坪医院	四日町新田2	57-6100

①1歳6か月児、2歳6か月児、3歳児健診は歯科検診があります。
②4か月児健診を受けない場合は、保健予防係まで書類を取りに来てください。
③3歳児健診前に検査セットを送りますので、届かない人は保健予防係(内線141)まで連絡してください。



9月の相談日

期日	会 場	時 間
3・10・17日(月)	保健センター	午前9時〜11時30分
11日(火)	新座コミュニティセンター	午前9時〜11時30分
	大井コミュニティセンター	午後1時30分〜4時
	川治地区公民館	午前9時〜11時30分
	北和会館	午後1時30分〜4時
6日(木)	就業改善センター	午前9時〜11時30分
	吉田山谷集会所	午後1時30分〜4時
20日(木)	飛渡地区公民館	午前9時30分〜11時30分
21日(金)	羽根川荘	午前9時〜11時30分
	水沢地区公民館	午前9時〜11時30分
	平成園	午後1時30分〜4時
14日(金)	中条地区公民館	午前9時〜11時30分
	北原集落センター	午後1時30分〜4時
	下条地区公民館	午前9時〜11時30分
	上新田公民館	午後1時30分〜4時

◎健康相談 保健婦による相談
◎高齢者職業相談 毎週月〜金曜日 午前9時〜午後4時 会場: 高齢者職業相談室
◎定例行政相談 14日(金)午前10時〜午後3時 会場: 市民相談室
◎法律相談 電話で市民生活課へ要予約 13日(木) 畑七起弁護士 27日(木) 中沢利秋弁護士 午後1時30分〜4時 会場: 市民相談室
◎結婚相談 12日(水)午後1時〜4時 会場: 市民相談室 相談員: 佐藤雄一さん 佐藤輝江さん

よい歯の子	住所	保護者
村山友理	(河内町)	正典
小川匠	(田中町西)	義弘
福崎哲也	(田麦)	勉
川田美森	(寿町1)	真矢
中島徳乃果	(谷内丑1)	貴男
相澤千帆	(田川町2)	和人
太田有哉	(四日町新田3)	篤宜
遠田佑希也	(吉田山谷)	秀夫
石田真由	(中条八幡)	誠也
石井亜美	(高田町3南)	茂守
長谷川和馬	(西本町2)	綾子
関口怜奈	(水口)	成一
和田涼音	(川治上町2)	信一
	(北新田1)	明人
	(中町)	幸夫

※村山友理さんは6月の3歳児健診を受けたものですが、前回記載もれとなってしまうものです。おわびします。

青春リレー

(77)

尾身 昭 子さん 1978年生
水落務會計事務所勤務



長岡の専門学校卒業後、就職しました。簿記の資格をいかした仕事に就くことが希望でした。今年で4年目になり、経理事務をしています。
趣味は何と言ってもスノーボードですね。始めてから5年くらいになります。冬は毎週ホームゲレンデの当間で滑っています。なかなか思うようにいきませんが、うまく滑ることができたときの充実感はまだりません。けがは多いです。ひざのじん帯を損傷し、今も完治していません。でも、スノボはやめられません。青年学級の料理教室にも通っています。料理はあまり得意ではないので、レパートリーを増やしたいです。
十日町は落ち着いた、いいところですね。ただ、遊ぶ場所が少ないですね。
将来は、南国に住んでみたいですね。バリ島あたりがいいですね。空と海がきれいで、食べ物もおいしそうじゃないですか。でも雪が降らないので、スノボができませんね。



スクールNOW

No.65

二千年蓮の写生

六箇小学校



六箇の夏を彩る弁天池の二千年蓮。7月21日(土)、六箇小学校では、地域内の二ツ屋にある弁天池に全校で出かけ、二千年蓮を写生しました。これは、当校の「ふるさと学習」の一端で、昨年から実施しています。
真夏の太陽がさんさんと照りつける中、「どの角度からかこうかな?」「一番きれいなこの蓮をかこう」と、子どもたちは喜々としてかき始めます。
こうして絵手紙風に仕上げた二千年蓮の絵を、昨年に引き続き、今年も10月の文化祭で全員分掲示する予定です。
六箇小学校では、このほかにも全校で山菜採りに出かけた後、学校田での米作りや地域の原木を材料にした炭焼きなどをしています。子どもたちの心に強く印象付けられ、ふるさとのよさを感じ取ってくれればと願っています。



発行/十日町市役所 〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地 TEL0257-57-3111 FAX52-4635
E mail info@city.tokamachinigata.jp URL http://www.city.tokamachinigata.jp
編集/企画人事課広報広聴係

市の花
「山つつじ」



市の木
「きり」

